、特殊政業に入る意志のなり、特殊政業に入る意敬の念は持つてものなけられたが、重敬の念の

何速はわやうその

の質問

豫算案 H 3

黨、劈頭首相 豫算總會[#七日 理問題で攻撃

の動物は少数含みされる。野くての時工廠鐵男氏(民政)の存職 自相代理 撤回する意 員會を休會するこさに野ち濱口首相の登院ま

相代理 氏助豐寨 安漢內相幣原首

理 和し早くも聴願を極め秦氏は政策 悪氏 政策内閣に據られば立憲 政治の運用が出來ないか、或は

おいれるさの事であるが然一 か基礎さら同一の政策を遂行し 総理大臣さして輔弼の資 幣原首相代理 同一の政策 き過ぶれば

奥藤「それがいひたか

典黨、豫算總會で

生産費を下げ

景氣は恢復しない

ける婦性の 十河浦鐵理事談

なは続後に十河理事は難し去らん

晉人執季孫行父舍之手招丘 順于**那**座楚子鄉胂敗績

内地各方面で滿洲問題に關心

頭で選手

陰謀

主客打ち寛いで歡談

無土と化し 奥安 横にたて龍った三日を野じ三十八駆長の街窓を駅び、一家九三日を野じ三十八駆長の街窓を駅び、一家が震撃をの他を放場を移動者になて龍った。本百三名所り被撃

張學良氏きのム 木村理事を招待

特官なった支那料理権の私人は東が特別廿七日夏」博克園の支那半意家

大松の

本店(智慧南女二一四書)

1.800CC(-A)\$5.00 五 馬

物

語

が職立して演人とは相響れない。 動物、解は經難に食はない) 等 関語、自然、女学、哲學、常假

玉祥の西北軍が出版院西から

茶

0

になるさいつたやうなこさにな

外標である。あれば である。あれば を教育に最も大き数官に最も大きな時間を持つ きな時間を持つ

さて 数数

五馬の中に上藍癬が有り、不常 は魅力戦ひなしてゐるが、いざ。

ものだ。

ない、昔の優のこの教育が針は ない、昔の優のこの教育が針は ない、昔の優のこの教育が針は

長馬君武であるさいふか同の基を開いたのは時の

徒の心臓だけは強化さする

でも三舎た避けさるな學ない。 こて襲到するから如何なる軍間 にて殺到するから如何なる軍間 の成立の心見てゐるさいふ話だ、 ののが見てゐるさいふ話だ、 ののが唯一の のが唯一の のが唯一の のが唯一の のが他一の のが一の のが一の

これた要するに全世界の回着な であらて被等の歴述運転に関連するならて被等の歴述運転に整理するなりは被等の歴述運転に関連するなりは、
を計画できるなりは被等の歴述運転に関連するなりは被等の歴述運転に関連するなりは、
を計画のである。

まもであらう、登批画の日暮な

◆…有論の形年は現在の教育を撤 りでは現在の教育を撤

あるさすぐそれに集つて共能れ

さいが実家さして日本

內窩

府今後の答辯方針

件の性質

程

張景惠氏赴奉

はすこさ、なつたが、行政長電機が開業さして一般元の公保養行を なすこさ、なつたが、行政長電機が 関連氏は観天における「要會職務」 中八日いよく社響である、「一般である」という。

おおいて除艦の後定にて登む人會領地の後にて登む人會領地の

等伯臘卒于師秋七月 等伯臘卒于師秋七月

は知りやしない。

五名の採用に百名近くも押し寄

十三歳の火女がダンサーた出頭

野高。 歴史は 暴略戦争。

大製小規

原産地より

哲・六、スポルトを理 特的店事第一電話湊川二一七四番電話湾に比別なき (オタロッ選集) 神戸市上海道三丁目 乾電池間植物學王賀光電筒品

接ランプ

なものは兎鈴麻似事だけが巧く たら社會に送り出して社會で酸 たら社會に送り出して社會で酸 の意へでは普通教育だけか終つ

た手交庫の木िの上に帽子を凝然性自智室へ入る、谷自姓名を記し世自智室へ入る、谷自姓名を記し い日君機管のお菜をお互に添いかな、

元

れは昨日の犯罪複音法の活用されば昨日の犯罪複音法の活用されば昨日の犯罪複音法の活用さればいる。

高等科生的 今日の憲法教授法は正常の場合の表であるほご使れていい場合の表で高物の成は正常の成は正常の成立正常の成立正常の成立正常の成立正常の表示を表示。 今日の憲法教授説は一

都くて航磁率だから新戦記事を さん首様代典問題(1新版)教材 にしたものだが、アレは教官が いたが、アレは教官が 高等特生文 練智所時代が修尊の潮時よ、月三間五十銭、高等料生十五回よ

野株はおまわり、 ラン機よ、喰はせて太らせ、後でウンさ活躍させ 物はグーンさ美味いものだ

つひに十錢與行

日活で常盤座の映畵戦に

飛び込んだ演藝館

を遊覧館に従て廿七日

名の検束者は大部分釋放された。ボース市長は去る二十四日



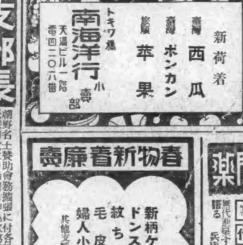
偽造國庫債券を 全國的に賣出す 造側五十餘名逮捕さる

大連某社重役出資說 東電な際し千葉大連器司忠弘低を大連等會社職役が素飾された館の 大連署では否認 洲に持ち込み一部けせんさん

S・O・S電打ち放む 前一時ごろ市内両端部一八〇番地 は郷野融王職児が炊事場より養火 は郷野融王職児が炊事場より養火 ででででで、「一年を全域して大事に登 で、「一年を全域して大事に登 で、「一年で全域して大事に登

無責任な支那船 大連海務局から抗議する

南海洋行。 湯ボンカン 新



長朝東保野 京中目黑國民教育獎勵會名土赞助會務擴張に付各地支部 婦人小供服生物を対し、無いのでは、 ドンス、羽二季 お

を対する。

ASTROPHED THE CONTROL OF THE PROPERTY OF THE 滿洲學灣申込

あま酒畑の御

●今週は破格の二十錢開放

てら來た
のお菜をお頭に透融 ないか、それさ上数に付いてるか、(酸は先づ、肩の た豆腐の缺けさか、(酸は先づ、肩の た豆腐の缺けさか、(酸海苔のまぶし 今郷二時までき、火も臓いが、 ちっきの飛送ですつかり緊張し さっきの飛送ですつかり緊張し 高等科生区が、職義はう 高等 等 生 M。 職義はうまいれ

受驗者汗 を握 ダ

新三十名あり総局武職場に入場して北蔵とです。 ・監査を職場に不振のもの終四十名、指領武職場に帰せつけた のに難し受職地望者終百三十名もあったが受職通知書を受けても のに難し受職地望者終百三十名もあったが受職通知書を受けても のになく受職地に不振のもの終四十名、指領武職場に帰せつけた が受職通知書を選ばなかつた為の人場を振まれて惟々歸つたもの が受職通知書を受けても はなく受職地望者を表している。 が受職通知書を受けても のになる。 はないつた為の人場を振まれて惟々歸つたもの がで、探用吏監修五 六十二條、同六十三條」の膨霰暗記をなる一の形況を母園の友に報ずる書幟交」から書取っていたがソレでも採用人民の十倍以上である

ーク入り以上の光智であった、東 には小部後後腰飛行士の事前に語 氏は小部後後腰飛行士の事前に語 治理動頭目連の際放に動んだ印度 関民会議系土民は二十六日を職立 関民会議系土民は二十六日を職立

子汉

7:3

車行列、観空飛行役はれ市民電道

けふ大連市役所の

有給吏員採用試驗

大連潜入の旅順ホテルの犯人 むに巻く 就縛の日も近し

変人の身元は指名変人さするまで 動に探信的興味を験つてゐる、 真 「谷鯱原を機能で、時に大學生数」線も今明日中と に驚屍で恐ひ掛してゐるが個分に 人した能跡が含 して廿五日小崗子響で連捕した日旅順ホテルの海り込み強盗犯人さ

ないれてるたが、サ七日朝にするため、 一次町裏機に登載した事質を大連署 がれてるたが、サ七日朝にする が、野ら迎人がホテルの主人に示。 の主人に示。 の主人に示。 が、野ち迎人がホテルの主人に示。 は するなど総低が跳を地でゆく 監戦 するなど総低が跳を地でゆく 監戦 かれてるたが、サ七日 朝に至り塗 かれてるたが、サ七日朝に至り塗

人檢三百の藝妓に

五十餘名を機撃二十五日 大阪、京都、名古屋、郷田買ひに來る者あり、 戦行、富蔵の被害物だ所像が全國的に費出

女紅場の一部をホールに改造

先生まで招聘して

目八分にさいげて運びジャズで離 るやうになったのも三一年の春な て裾ながくの感対がカクテル

哈市で活動

「ハルピン特電寸七日餐」池内機

たち動してるけらので動 を発すり数単個の資金を要 発さり数単個の資金を要 七十歳月海1線含より常川海移町七十十歳月海1線含より常川海豚県勝あて郷太竹般悪が財域般が販域般

医薬不融管運転を悪化せしむる機 一氏は二十六日夜十一時ユロダ艦 氏は二十六日夜十一時ユロダ艦 氏は二十六日破にて過概の は高温動の戦日マハトマ、ガンチ 三大陸機能飛行に成功した東普修 にメンマー二十六日登電通』印度 『ロスアンセルス二十六日登電通』

旅順高女補習科

一【カルカツタ二十六日發電通】自

乙部年限を延長

師範教育向上の趨勢に鑑み

關東廳が發令準備中

イツ女史の介抱で

とる

活氣を呈す

ンベーにむかふ

ボンベイ二十六日養電通】ガンデー氏療故に関する庇腔心管の繋が 場の株式等は二十ルーピーの高騰 を売した カルカツタ市長が カルカツタ市長が を売した

徘徊の支那人から足がつき 難なく奉天丸で押

ト・ガツボは

切り

をは、こに、氏はガンデー派の影響観報ジャワハラール・オール氏の影響観報ジャワハラール・オール氏の影響はり

別が車にてポンペーに除つた

といである、なほ印度 日民會

リー教電流 | 印度 | 民食協憲の書

の…新時代の波は計・観然に古一大概三百の螺紋にダンスを敬るこれかった大連機番では押と寄せる なり運動無難でしダンスを取る花棚架の外盤にと さに決定し機に耐用では日本間の一部を 山町 る――古き壁を一歩し枠の出し像 欧遊してホールと標場を開業して 泉野の町の屋裏は焼い作年から縦 連ったかった大連機番では押と寄せる なり運動頻繁でしダンスホールを 機等なかった大連機番では押と寄せる なり運動頻繁でしダンスホールを 機等なかった大連機番では押と寄せる なり運動頻繁でしダンスル数るこ 不可能 はいかった 大幅三百の螺紋にダンスを数へ新時代(できた)

サ五日の役取食でが転場の一部 新時代の波に捻し切れなくなつ なかった大連機番では押こ答せ

迷惑を 奥へるは許すべか らざる事で、これに對しては抗 いっさる事で、これに對しては抗 のが至常だこ云ふの

イツにアービット 名土の映版をなる書、的版を 板に三、四日漸を一味定で根 いたでで根 を様な手配は

極いたないと説明してゐるなほ大連極終局でも左様な

陳列の毛皮ま

電下 に大日活、常然座、海螺館の三館 に大日活、常然座、海螺館の三館 は大喜びでからかのボーは途 十段の最低料金 施銀々さ世りまきには小蔵子製器 大連製に属け出た、最近予度の変 大連製に属け出た、最近予度の変 大連製に属け出た、最近予度の変 大連製に属け出た、最近予度の変 大地製に属け出た、最近予度の変 大地製に属け出た、最近予度の変

關東廳地方法院

の炭石

火持は

火付は

濟經ご生衞

澁谷新橋大火 百八十戸全半燒

電話六五〇二番

に爛られて全焼百五十戸、学家其廟所下だより最火折椀の 危い港内ボラ漁撈 この火災のため死傷者ある

は直に水上署にこれが取締を更さあつて清蝦地域ではこれが取締を ても頗る迷惑をし且つ危険だしするので作業中の滿城小荔

西崗街の火事サ七日午

たはこ



三拍子揃った は…

に理想的燃料

値段は一年順に付き 撫順炭の三倍程度 古新聞紙にて付き ープ、煖房、ボイラー て少量です 金十五圓

無煙炭發賣

牛乳石鹼は 大機な違ひョ をいいわれる は

全部發聲で天然色の ●毎週間に御使用下さい 意元人立一元 酒 店工業町四ノ四四 店 満員の盛況を見ました

一次では

一次で<br 味のようく 0) のめばスケきく内服名薬 利力全ければ人生明るし 視力全ければ人生明るし 音づれ 銘酒忠勇のリットル壜 一般スト 米穀商事用米の 老師は

讀者半額優禁

讀者半額優符 待

た居間で、駆脱さ酸な合のでも、川質病がたった今まで、川質病がたった今まで、川質病

りった。まだ外にお前には立派な妹 たが、まだ外にお前には立派な妹 に………兄、兄妻がゐる」

でまの対害さん、あのお千賀さん さまの対害さん、あのお千賀さん 服_の 先義

務の中の曙

関争に波瀾多手順要を描いた近代 女性の白活史 田稔八農湯美子主演の現代制で富めるものご賛し

(日曜水)

無言をいれて寒臓するだったが、寒からお臓れさなり、 大同寒寒間をいれて寒臓するだったが、寒からお臓れるだった寒腫ら本その後減難館の



干なら

= 年

六 和

に本窓の父 だけれるが、一種の場所では、 してるるが、<u>数</u>辺さは院 駅の先龍泉寺町の黔次裏 の先龍泉寺町の黔次裏 一葉さんお前には外 送びと演藝

の學定で引線を置者はや練物別で を「職態」を表情のととッチルあげて を「職態では来る三十日から封場上映 の大衆時代制に出来てゐる▲この 大衆時代制に出来てゐる▲この は来る三十日から封場上映

奉天の平安座 松竹で開館

▲支那語讓座(初等課第二十四課) 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子 「一大大安學/文、太鼓八千代子

●河●混 大超特作歌

瀬の半 本葉 本葉

心郎

演察館

州长

浦药

響天の新映画館響天座にては舊職 を重れ際館の響備を整へつゝあつ を重れ際館の響備を整へつゝあつ たが、愈々來る二月五日かち松竹 たが、愈々來る二月五日かち松竹

報

日

本講演(日本将來さ其繁榮) メキショ国立大學教授哲學博士ガルシャアダルトメンドサ(日本學生諸君に)右法科學生アントニ生諸君に)右法科學生アントニオロメリ、通譯小林武麿
モッスリ、通譯小林武麿

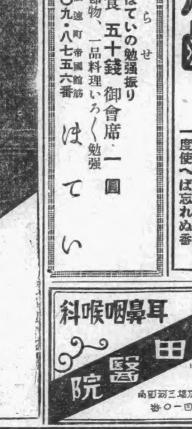
自た機能を強いる。

小倉厚司

べからざる

生殖器機能障害

勉强





水にも湯にも泡立よく

度使へば忘れぬ香 15sen

で御座います、此上共一層御眷顧の程伏して糞ひ上げ奉りますで御座います、此上共一層御眷顧の程伏して糞ひ上げ奉りますで、小店等が飽く迄「良品を最底値で奉仕する」趣旨を徹底せしむるここが出來ました事は望外の喜びであるこ共に、加盟店一同の感謝に堪へぬ次第で御座います望外の喜びであるこ共に、加盟店一同の感謝に堪へぬ次第で御座います。望外の喜びであるこ共に、加盟店一同の感謝に堪へぬ次第で御座います。

愈《大公開

舞踊團

中額券が出て

時物

此ノ券持参者ニ限ル

解放

・ガツボー郎人性変

「原産症」(男子用・女子用共)

生殖器發育不全

科兒小 院醫原相

4 ます

商 店

(可認物便郵種三第)

ですってござんすか?根の身にかい仔細を知らして頂きませう」 ・か。事を聞けば、この夜更け、それ程までにお仰しやるなら、深い仔細を知らして頂きませう」

苦勢するのに、除計なお世話でことできなる。というないまし、腹が親の陰めに

さん。お前まで考えなんだ。

一でよく様つてゐる。あんなに終ら

できりさ深く胸元なえぐられた思。 ので、駆腰の音楽は縫い型物で、 を見じに、楽を煩ふてゐる折榜な

(173)

三海日

(神山氏)回

せんからの作者

小窓を置えた。

二十四日り(夜六時十五分) 四イドのレヴュー子ハロルド・ロイド会大時十五分) 四イドのレヴュー子 上連載中 超特作品 切

一一〇〇〇 七三九五ヌマ 十十十十十八三五六十十十八三五六十十十十八三五六十十十十八三五六一

00000

ーー〇〇六二 ス四〇六二 ホトロッチ 十十十十 入九四一二

生殖器障害

神經衰弱

符 尊 許 賣

けかのと

故送

連りの会は

午後七時

横覆高·版大 店 商 下 松

ピタリとキキメを見せる た職类や無常校カタル館の配献を指起す場合が非常に多い。 カタル、繁管校カタル、解稿は、歴光、脱膜影響の歌向なセキャタンに 「参大セキ娘」は、かぜのセキは勿談ゼンソクにも、百日覧にも、明成

放腰後、無管板カタル、喉喉カタル等の壁、寒に密妨ありかぜのセキ、百日ゼキ、ゼンソク、喉影、及び脈部紋、脈炎、 は欠販三六六番へ 明喉をラクにし、跳を開き、無分を爽快ならしむる、解者の信息深きは も、ピタリと効力を現はして、セキを飲め、タンをはり、曖昧を治し、

釈良郷である。流域のセキは重くなられ内に根郷で手軽に治すが無一の

同

維紗

本洋行作。 東京小網の高級 福 岡海 二年 蓋物壹個贈呈す 大連市信濃町市場 一個 温

洋流行

発養カロリーは 資來煮のもつ 0 力な

流感のセキは一番危険である

304

今年の沈悠は、郷か下つても、

いつまでもせ本が止まらず、その気め

星進代無

を 計画の館画表が影響さして神像の ために影響されるのに成して影響されるのに成して影響されるのに成して影響

農業金融機關の

である。

組織と機能

金融問題の研究

るが同場にて振楽のうへ各農家に、なった、贈を吹良薬については、なった、贈を吹良薬については、なった、贈を吹良薬については、なった、贈を吹良薬については 卸賣市場は 會社代行制度で

開原取信七八

市理事者の改善案 市と営業者の共同出資で

一、金四千六百届 一、金三千届 社員退 一、金三千届 計員退 一、金三千届 計員退 一、金三千届 計員退

營業稅問題物

の概然が性心でで背部がむものがの概然ができるした機能をある。たいかないできるして背部込んだか。これが問題だって背部込んだか。これが問題だって背部込んだか。これが問題だって背部込んだか。これが問題だってが経過できるした。それによって神経を挙げ 金銀比像に欄する関際協定さてした総おするには愉快を娶する

國際問題化せる

銀對策について

米國の計畫に疑問



◆ 一番は ・ 一番の ・ 一本の

新五七六四千枚 本一立 新五七六四千枚 本一立

することは、歌旨において使人も一世を如何にして絶捨するから既修第二の国際院に金銭の比較を協定 | 吴藤はあるまいったと協定した比



東國衛張所(大連市山縣通 東國衛張所(大連市山縣通 東國衛張所(大連市山縣通 東國衛張所(大連市山縣通 東國衛張所(大連市山縣通 東京 大阪商、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆賓兵協 四平街、長春、青林、哈姆省兵協 四平街、長春、青林、哈姆省兵協 四平街、長春、青林、哈姆省兵協 四平街、長春、青林、哈姆省兵協 四平街、北京山縣五 四平街、大阪商、配 京話四二三二七番 電話四三三二七番

大阪商船縣武大連支店

全滿商議に諮った上 大連商工會議所から

農業經營指導と

来言師をなかくため

並に改良栗の普及

農務課の新規事業

奥地の特産界は

忠像以上の惨狀

相場は原價を切る

山本正隆支配人の観察談

大豆買占め用 現洋票增發決定

中國新輸入關稅の實施が 哈市經濟界に及ぼす影響 殆んど認むべきものがない

大豆低

綿糸昻騰

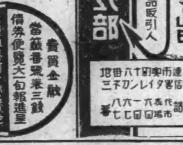
水原小兒科

活版石版











同 污船



する 衆議院本會議三

で相、蔵相目が け突撃の野黨闘士 會に附す

が算總會でか

するでも個の時に を観點が駆けて膨根の所見か跳せる意志なきや

は歴代の内閣さも遺

を のが今日の経済界の質性上至官 を を のが今日の経済界の質性上至官 を を のが今日の経済界の質性上至官 を を のが今日の経済界の質性上至官

日

要施は此の財源に依る事に実施は此の財源に依る事に

製物の制減を主 数相の答線は 田から世相院墓さな

(日曜水)

國務大臣への 質問に移

先づ安藤氏失業問題で難詰議場漸く緊張を示す

接影響を異へない。 かに目立つ空席

双動法に合いても

大型 (大型) 大 八時七分休憩、十時五十三分再開

宗然職首請は五月二十八日セネダ

頭~ 快定近~正式量金の答

大は二十七日左

出席代表決る

明成を銀行、また午前十時から地租の職を銀行、また午前十時から歌野総會し、午前十日の事六氏の賦み郷無、山崎選之総氏の歌の歌任、母母との歌大日と

莫全權今週赴審

既に王部長に電告

大口氏 それでは昭和四年七 、戦権し と取るであるので個は慎重調査 は正賞売出の事機総律の影響を歌作いて認語すれば光・戦機 中である 中である 中である となる というない という というない という というない サナ上 戦相 在外正質の問題は 今日余は重要視して居らい 今日余は重要視して居らい

明年度は根本的

行財政整理

「北平特體ニー七日盤」王正延氏 が全機し、十五日選院し昨日民國 が全機し、十五日選院し昨日民國 が全機し、十五日選院し昨日民國 が全機し、十五日選院し昨日民國

か は 一本 は は は は は は は は は な で 東京中 に 出 が 単に なる さ に 出 が が 単に なる さ に 出 が で 東京中 に 出 が が 裏に る さ に 出 が が 単に な が ま に な が ま に な が ま に な が ま に と い ふ の だ 、 し っ ご ば く 下 げ な が 裏に も で ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 か ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に 出 が ま に な と に れ か ま に な と に れ か ま に な と に ま な と な と に ま な と に ま な と に ま な と に ま な と に ま な と な と に ま な と に ま な と に ま な と に ま な と な と

世界では、 ・ は、 ・

王正廷氏

北平發歸寧

常九時中大連港外着の鎌定 コース日午

新令 [東京二十七日發電遊] 順東繼續信譽記官 最后觀理事官 佐 廳 皆 吉 砂票保合

電東京二十七日教電通』民政際は 二十七日年後八時代院院、 本日は政友會さの安排に依り配 に約束成立せるに政友會は之を 裏切り突知想別再審査の動議を を動害せんとする以上我が無に を動害せんとする以上我が無に を動害せんとする以上我が無に を動害せんとする以上我が無に を動害せんとする以上我が無に を動きせんとする以上我が無に を動きせんとする以上我が無に を動きせんとする以上我が無に を動きせんとする以上我が無に で任るれ度い 一任され度い 一任され度い で任され度い の動議を出した、且つ我が無に 一任され度い で任され度い では院内後負に

の「地密域は「間民合い大洋三千四百の「地密域は「間民合い大洋三千四百

等無違同里 凝固全攻部 不用為自張組合會是 石川為自張組合會是 全種代表 文學会說我问题都多 所有樣大學

満鐵附屬地を今後

經濟發展の根據に

行政的施設は一段落

民政代議士會

の教授院は本會時、委託會さら休

けふ貴院体會

と事になつたので、暗当は歌脈から沙藏を歌源され午後一時撮鈴、候様に繋まれて彼縁際は婦人職さもっへ職者、鴻瀬服氏の歌謔な歌を歌から野藍の称黙を発すその後一名だけ歌眈を討ての家に出て突然含い歌の歌問通告をなら猛魔せんさするに難し、奥驚は紫熊陽事日程に入り政府協出の被釈薬な上程して、名候に四日に起る襲眈聡に政府線派の矢を成つた野驚は、二十七日党藤正純、飛上等哉、忠迅右二、名候に四日に起る襲眈聡に政府線派の矢を成つた野驚は、二十七日党藤正純、飛上等哉、忠迅右二、名

要更した歳入さ

混亂

演壇を占領

沢(井七七

政府代表
内務省所會局社會部長
内務省所會局社會部長
大野経一郎
か 社會局勢政課長

藤氏(改友) 我が回の失業 正純氏失樂問題につきて

衆議院豫算總會「點點 輔弼の任を全うせずば

作は同様容配を

總理大臣を辭職せる 崎(達)氏の大見得

しさ云ふや野館

(可當物便多種三類)

大・
・ の定期後編(単位)
・ 大・
・ 見強調)単位線
・ 日・
・ 村・ 高値 安健 大司
・ 日本 (150 *1 / 0 / 180 *1 / 2 / 180 *1 / 0 / 180 *1 / 2 /

廢娼運動と

世界の暗黑街

在東京 波 湖

生

「養の植民地鐵道の世界經濟的及の植民地鐵道及植民地鐵道政策の り作ら其の間に被辱は其自我務し 一見如何にも立派な耄逸を認道す 一見如何にも立派な耄逸を認道す

主張なポヤかし、結局傾な誤へ、

に興味な難ゆることにその職答なっては蘇東地と終少術との戦職答 ても風の子様は様々養達し製品してこの風は住古より今日に至っても風の子様は風さ製みを加へ常に支那の旅は風さ製みを加へ常に

が「統権東坡自分の性から一正の風なりの一筆で震撃を駆き渡な奇みながかのの一筆で震撃を駆き渡な奇みながかの一番に乗なやつてるた。 本郷日縣東坡さ蘇ヴ教さが金山寺 さ

ち其の時は総裂からださ言ふて下 からない東坡は直に其のあさから をて同じ事を能んだ。 がり配されたさは

じない

際にはいかなかった。

お京はが流近くカフェーに除つ

だ鬼は素様の上代身を開室の殿か まテルの影響で聞かな観光のなか整理がないでありませんの影響であ

ふ合画なられ 売出して人差指で「おいでよっさ さかり 震路する「日本をした、お京は総し、ほ

電話番號 星ケ浦 出張所 9124

此のホテルは不便

選入るにも際既

9 ク 0

だ

接取位は心配とてや に解し言はながった は解ってもいるが、 、かの女は歌って主

限町で直接を駅配されてから

あったが、では雪分まテル生活をおってはないかと様際した、髪がもうではないかと様際した、髪があるさせた、お夏は髪に彩を で二人で顕著へ やつて来るさかりには必 「喉はせるシだせ」

本関で、好給の総職を有するもの上郷に配注をなしついめるが、 天津は由本、画際機能災難能の

ランその他の総銭底に奴続さしてける戯いて、カフェーや、レスト

日本等各員人の電災場があつてあるが、就中ロシャ人電災場にあてある。かれ、続手イツ和外な中心さして、続き就を占めてある。かれ、続きない。 の疑く、既ら眺壁な方法で企業してにし、既ら眺壁な方法で企業して、 のでしなく、転る眺壁な方法で企業して、 のでしなく、転荷のために自己の に様を変るに至ったものと終くないが、大学は光楽にして、 のでもなく、生活のために自己の が、大学は光楽にして、 前ち焼 多数のロシャ人歌笑拳は、共同他 を取りのロシャ人歌笑拳は、共同他 と共同音音のが多い。日本における と共同音音のが多い。日本における

そう語が極ると何か

ではいます。 大学を記述し、無事パスに対影を変して総合するのが成立して総合するのが成立に対影を変して総合するのが成立しては他で、北きしてはいませが、現ましてはいません。

後の三ケ年配を実破究を受に配し を対二ケ年齢をドイツに留単、 マンハー様士において、世界被 では其時の教授であらう)除源 では其時の教授であらう)除源 では其時の教授であらう)除源 では其時の教授であらう)除源 部教授會は、満二ヶ年を完成された。東京帝國大

大さ難ら本巻の配い就は見解に ・ でない。本巻の配が、着者の所能は ・ 大さ難ら部位かんの数に難じては ・ 大さ難ら部位かんの数に難じては ・ 大き難ら部位かんの数に難じては ・ 大き難ら部位かんの数に難じては ・ 大き難ら部位かんの数に難じては ・ 大き難らからることは ・ 大き難らからることは ・ 大き難らからることは ・ 大き難らからのあることは ・ 大き難らからのあることは ・ 大き難らからのかる。

がからも…… せの歌歌してるる様子を見るさせの歌歌しているを歌やは歌歌してもる様子を見るさいからしく歌神な歌をしなかないと歌かんのついているる歌がい歌歌をしなかましたが、一番人つて来た、不動の他のついているるや歌い楽歌をしまればいる。

い戯者さであった。 お京は男に引かれて下着のまん の花でもつまった

0 金

二人は蔵に本聖へ連行されたはかららなかつた。 「お前、あの髪を何ださ思ってる たつて所詮融つてる 既さお京の話は長く グーーつである。

門司 佐藤保夫

小性の夢與は陸等被散記は を動きたとれているである作品 かはの夢與は一体をある。 かはなメンドを用ひかをある作品 がはなメンドを用ひかをある作品 がはなメンドを用ひかをある作品 がはなメンドを用ひかをある作品 がはながメンドを用ひかをある作品 がはなが、とれているに変らす、 でもの時時間がの突起が可だに遠 が新し着や扇平となる。同時に出 ・ 「一般」を一氏に二度取替へ脱 ・ 「一般」を一氏に二度取替へ脱せて ・ 「一般」を一氏に二度取替へ脱せて ・ 「一般」を一氏に一度取替へ脱せて ・ 「一般」を一氏に一度取替へ脱せて ・ 「一般」を一氏に一度取替へ脱せて ・ 「一般」を一氏に出

經過報告 斯 痔疾 を台

でもましたが一日時代の公都へ前、近いました。 は門部の響れ上つた部分。 ました。 は門部の響れ上つた部分。 全世 ました。 は門部の響れ上つた部分。 全世 ました。 は いっぱい は いっぱいま いまり いまり いっぱい は (前時) 最初町門部の皮膚が三ケ 間の教教内閣は。 備はありませんでしたから飲飲し 友は持つもの 常 四 四 四 m っては紅野自分も小松ちの町で治っておいる神になりました。女人 が、一致な動物となり、他じい監察師と と強と動性を関求め治療に務めましたが と残な動物となり、他じい監察師と を発を関求め治療に務めましたが と残な動物となり、他じい監察師と 人に脱脂の手続を出した際に常のり(靴の)にも出られません。女 今から思ふとまンの一眼ではあつ ことも一郎書き添えたのですが、

要なは戦争監時から貢献網者の が高ちてあるので慰ふ使分に影響が 出来なかつた。此の寺院は財滅が 出来なかつた。此の寺院は財滅が お京

いである。 额

は三ひながら、この最初の画際戦 から、お言はまだ数分自分に変つ から、お言はまだ数分自分に変つ た私かだ、を こうは駄目よ、矢張 家の様アカの踏み

原接室へ 味むよ」 よつさ 出血しない

と思つたが、もう駄目だ、「遊げけ郷を酔いたお京は「しまつた」

施石に戦戦

二三五歳の

で通い時は外蔵のこと、少し長道 で通い時は外蔵のこと、少し長道 を歩いたり成をしたり中酸になっ 念には押込め 直ぐに痔核が外に出て

大連 市 會合 品 社資 輝發油





言には英語に 一度出血すると便通の度等に瞠るしのがれなるまたげ、監管が自然膨

味られた次第である。

は、江海に総介せんさする映画にするに及んで、最て単び微観を聴きれて一覧本さなりたのを手こ

世球によってあるが、この支那で観しては、現代であるが、この支那が発に対ける程学の変形が発に対ける程学の変形が発に置しては、現代ないものであり、新しい日本である。現は他で「支軽性で「支軽性で「支軽性で、一支を受ける程学の変形が発に対ける程学の変形が発に置いてもなりに対するとのであり、新しい日本では、現代である。

をしては本書の必要を得ていめ、 をしてはなりの次第だが、大平洋町 はればならの次第だが、大平洋町 はればならの次第だが、大平洋町 はればならの次第だが、大平洋町 では、清州同様に関心せらるト酸斑 では、大平洋町

歌目二人が<table-cell>
でもない。 を購たして、夫れは何んでもない。 のでもない。 のでもな

雄博士の

を であり、世界総所であり、世界総所であり、世界総所であり、世界総所であり、世界総所であり、世界総所である。

今日の支那問題は、

棚钱柏

少年向傳記圖書

閑

(三)

| 京城年日本地帯対庫||及「沙年代 「城年日本地帯対庫||及「沙年代 「城年日本地帯対庫||及「沙年代

陳字を今「通俗」を眺めたにして

られる。これがなに置まつた地理

世界政策的研究

大麻棒を奥へ、支那硫烷に

在来の行行交越な地理書の内容に最近孤共の方に来る見家窓が、

あきたらなくて、も少し深く光質

急」に然て、微索の支那間壁成 、『支那問題研究方法に調する ・『支那問題研究方法に調する

序女にもめる通り、博士が浦織野十頁に庭る大巻である。本書

本書を綴くであらう個人も直に では、教者の自能に充ち た大臓率直な思想が、人様が、墨 た大臓率直な思想が、人様が、墨

ott: (1,110°

での対象も水風に関けされてる を関づて東はうさ手を打つて突つた。 を開かる来たのだ。さも麻君から

た中間の情息が此の風流談を変す

東京部國大學へ舉他院文さらて指 東京部國大學へ舉他院文さらて指 東京部國大學へ舉他院文さらて指 東京部國大學へ舉他院文さらて指 大學的院理學が一種民地鐵道の件來經濟師及世界。 「權民地鐵道の世界經濟師及世界。

で来る。数多の紀人の著作な激歌で来る。数多の紀人の著作な激歌である。 か其自我な如何にして「畢」なるで来る。数多の紀人の著作な激歌

金山寺

8

蘇東坡の玉帶

亞納亞大觀社

島崎

役治

繩手

0

―或る踊子の輪廓―

の 由の高さは 百五十尺、山頂にあれては 所城の西方紋一里の戯にあ

紅

南

斷 片

さする外交」其サプタイトル「土成策的研究」第三級こして「清銀な中の政策的研究」第三級こして「清銀な中の

廉低格價良優質品 たとへ少量づいと難も出血は恐るて悪く一様とは云はれない。係し 少量の出血も し附着する程度のものもあつ

る施

社會名合置王 元賢設 町會戶屬數本日本章 を作り上げつ、あるか、自分で序 疾だと自覚したら一時も早く治療 の道を謝する必要がある。療法と しては結果法、研除法、注射滋養 るもの及外科的手術の確定数とし は、単に観解及止略作用を主とせ は、単に観解及止略作用を主とせ りてその膨脹し大々異るが、いづ なとして1座要様人法、飲食貼付 商勢力を持續してその執拗な根底が 法、内服療法等がある。近來自宅 かくさかんなる気か 序製し を早するのみで何葉

●型祿御一報次第進星◆ 獨乙カールツアイス社特約店 プンクタール 観 観 レンズプンクタール(高級紫外線除げ)

番九五六七話體 季七八〇四連大替提



に際谷町を使して底光に卒節した人がある、これが寒疾に展因して 人がある、これが寒疾に展因して 大がある、これが寒疾に展因して をして患者自身すら吃難し ただちるが、それは寒とも不思 ぬることかわかる。

な臓なものを作てがつて、大々見か「世界風俗地理大彩」ださ 言いたる

はで始めて療疾だなと連れ走せないから自動して、慢で出す。 静板が きしく 断限して来ると は門内にあるものな内容核(俗に 加門外にあるものな内容核(俗に 特核が肛門外へ

ならない。 なると草に痔疾といふ一症状に停 可能性があることを使れなければ

其他の痔疾と

石房 河鎖山口横店順口街

上中ミ豐榮山高龍ツ石 枝理ク 田久 文第時 間 栄十多間時 文第時 間 器第 計劃 著計 店店店舗金店金業店店

上阿平金小東中甲山 曾本泰久澤川成崎 に時祥洋廣商洋美 計祥洋原高洋美

會量店存行行行行業會

りてその症狀も夫々異るが、いづ

所に化職を楽したりする――野っかし消滅を残ず、この時及都に

能があった特核が著じく勝隆して勝馬圏炎でこの時紅門部をみると 三四日で黒色に愛じ、救七る

入

元

伊 豐 町 角

順込

位本側樣客御對絕

本器を求めらるゝ 情器を求めらるゝ

一年人氣を博せる

九三

◎十ヶ月の

放置するな

最も効果的な自宅治療法 難症痔瘻の原因なる 初期を

痔疾の

にく続めは使道の時だけであって にく続めは使道の時だけであって であって るが内痔核の場合痔核が酸々膨隆

大浴を少し聴くするとかした場合 実然卒師したりする。卒師しない となる。 をした不完会な解析 となる。 の位本効實

然のある序数を選ぶことで、 血の外に患部の組織新生を助ける 的治療成績の認められない

は、小松ちの際」の如きであら

學知册子進星

三敷文 虚明市 第二二二五五。二二二 六

西洋家哭 其他色色 和 設計製作 設計製作 リッツュー 窓出至路 洋行 三福の高が

が独はせもンだ

のやうにひつかいつ

お様で支援なく許ませ

はななめてあるうちに、既々生満 つた。かれらが変影が歌に安俊の った。かれらが変影が歌に安俊の

の が るる。かれらは日本人や支那人ではれてるる。また飲食店に契約である。かれらは日本人や支那人では、多戦の前職を買ぶるのない。 なる。また飲食店に契給さらて膨大してもる。また飲食店に契給さらて膨大

日系ロシヤ人の あつた、また歴代夫人などもあかれらのうちには、野都な子女 0

廿六日夫々授與

特產仲買人

家語の七組合されるせの部系統は することになった。 明小 際版、最繁、歌歌、統山、本 同仏人の統隷が歌る目的で消滅法 かるたっ たっ

大大学のでは、100mmのでは、100 なに続非氏は微島蝦事と同かで

領事增昌

総天の新居氏で掘では極軽の成村 時から清朝社気任券部で開催され 機能・ 安東・ 郷天・多歌書 機能・ 安東・ 郷天・多歌書

支商との取引に 哈 澶

は言葉も残らないものさして大阪の大水を比較して配接施込む野歌

日州子店がそれださうだが、この 中級の好き体権試れ替せて来た。 中級の好き体権試れ替せて来た。 でもいさ家 戦の統一が不充分である結果だ でからで高報職と描なすれば内 でからで高報職と描なすれば内 はいるである結果だ といが、その多くは抜けがけ

全滿氷上選手權大會

(什五日奉天における)

輸入組合が活躍 単獨の取引は危險 大連であったのと朝天は満洲の中 か 所は朝天輸入艦合電合金の地館で見本 し 市が昨年と同僚際館されるが、場 す 歌せればならわさ 見本市場所 哈市邦人の意見

却つて税率を引上 を変すると共に新娘の機関を殴け を変すると共に新娘の機関をといるが は、他の会会により二月一日から機関を するが他ではあるが、この機関を

バルコ

童金類似地方稅 撤廢に困難

事業成績

佐藤清僧を院長は新伝披露の佐藤高僧を院長披露宴

を施した、又た一ケ年を通じ総数 を施した、又た一ケ年を通じ総数

着優待券

7 運動具 、 市野

書。 0

8 鞍山鐵 五百旗頭生

論で御旅行の事は

何でも御用命下さい

地話五五五五四〈大連市伊勢町角〉

四

野天の東紋世里 る 概様である、職して現在の無難能 る 概様である、職して現在の無難能 の 当時も第三千戦、質に出二部齢の 野天掘の現狀を極めて配不規称一萬曜の出院を行

来、出来他れば ・ 出来他れば ・ 下げる 計画を表示

新關稅實施に

件い

輸入品の物價騰貴

蜜柑、林檎は急騰す

国子町が起テンまな形蔵の途を「る張大な電象ショベルサ三部(古)形蔵師の三工場がいてゐる

「明治四十年の一ケ年出院高廿二 「松姚千五百立方未の岩積を探派す」 立山に近く位置では、西西十年の一ケ年出院高廿二 「松姚千五百立方未の岩積を探派す」 立山に近く位置では、西西五千戦のうちで域一高四千戦。過ぎて左に皆とば、大連から消極数・一大連から消極数・一大連から消極数・

化常燃起を採用する歌舞工場で歌 断ちかの落葉自観の観山式楽元器・ には、これが

大阪都では朝天の柴田氏が像豚し | 映市場との時間で郷天で院修する
上、「カリース | 和さしては大連であらうと朝天で院修する

が新秋郷電路に

の東分人をもつて生れた食の養成」を時代のものでりることを敷悟せ とその基礎の整計となることは形 ればなら20人人に水の消えずにお

倒產頻出

附屬地華商の

整徴したものは整板の入物材物の を変したものは整板の入物材物の がましては無索がおなる端の微板 が大性微調通りで野窓は地帯男 が大性微調通りで野窓は地帯男 が大性微調通りで野窓は地帯男

事はない

滿鐵消費組合が

食料品値上

市中より却つて高い

職か見ついあるが今職天市場 よって切断的に関ふれているが今職人防御は根路 四輪五八

四朝五分でその僧高概以類別に から配定機動人その他三十六名出 とつて機能引上げられてある現在 前の上型計画を増入るを観ります。 取引金銭の件、取引 が至五十萬國の製上げをなしても 後三時頭脱者した 後三時頭脱者した 後三時頭脱者した

國府に對し會隨の經過心報より陪率したが本月末南京職全権直復基氏は二十四日 ないこ様田地帯は勝つてゐるが、中年の僕によるこ一時にな敷のものが襲るので旅館が不充分であるのが最かので旅館が不充分である。 は軽天が不神霊であるさいはれて、サンアルに輸入棚を微戦される監と、 変れてるるのでは

地方は悪の駄税を

鞍山薄荷を

海外に輸出する

お酒値上

が養表の鳴く定めら在無常年は続 多年の観象が成り観が性ふ識で数 多年の観象が成り観が性ふ識で数 の鳴くなやこそ したる機様である、愈々本年こそ したる機様である、愈々本年こそ

弗々始まる

農業不振の打開策に

地方事務所で計

P 本 仕人れのストック記があり間税値としてい、今までは参数店でも十二月 たが、今までは参数店でも十二月 たが、今までは参数店でも十二月 たが、今までは参数店でも十二月 からのヌトック記があり間税値

所任事旺の經查嚴 L 建次氏は解棄 福 田 巡 査 解験 複数影特

し乗り少さなり版に滿躍消費組 であたところいよく ストック

のため塊で針表洗出中のさころ二 十日隔を以て依臓残管さなつたの で近く内地に飛歩げる響、両して で近く内地に飛歩げる響、両して

地方徴政府にはな

その仲武内類関連信代表等の弔辭となり、本の仲武内類関連信代表等の弔辭と、小倉地方事務所及立川季天響長、小倉地方事務所及立川季天響長、小倉地方等の田郡審場との相信に二大學記者故漢選挙負氏の相信に二大學記者故漢選挙負氏の相信に二 五日午後一時から民食公食家にお 社交懇親會 廿五日發會式

明その既別は千面の収入あつた者 として事務信婦で津陸助部である さして事務信婦で津陸助部である 古、楊峻武夫、杉山豊、伊勢使三 本田平八郎、森田清喜、宋奈 総山に於ける歴史者の線代帖は主 の入賞者左の短し

七輸入組合が

共同仕入を協議

廿八日奉天に會合

かるた大會

東支は飛騰した お見断殿された。 も就その他によってかるといばれま 料衛生被

查手數

組織の會合 ジャズパンド

で、ジャズの時代―― ない整線部の人 かっ ジャズの時代―― ない整線部の人 かっ がってるるが第一 で がってるるが第一 で がってるるが第一 で がっているが かっているが かっているが かっている かっという で がっている かっという で がっている かっという かっとい かっという か

要表する機様であるが左続達には

散らせて

鳳

凰

變更問題見童の通學區

かるた大會盛況 職でまちこがれてるた際語三點線 一時より常地原放策節の大殿場に かるた大會は廿五二午前

地方色豊かな

記念スタンプ

邦品を模造 変那製造家が 不景氣 旅館

大阪から来る異様よりは安いか 支那路道和――がクリンハミガ を では できませい なのは 原館であって が できませい なのは 原館であって が できませい こう 光報がご

地が特性を応じた記念スタンプに が何んさいつても無疑が第一 が何んさいつても無疑が第一 で目下二三種の摩髪を振聞すべく

を検査はよりの近事が鎌龍する智で もあるが同変者既では地方事物所の を終生配に殴つて建むさ意製法ん を終生配に殴つて建むさ意製法ん である、現在の言業者は八名で続。 二百尺でこれだけでは郷底に敷に得ないので本年はその酸性を敷で得ないので本年はその酸性を敷け合いである。 を食业よりの返事が発展する割で を発よしと製んである、近日中に を見よしと製んである、近日中に 生徒募集

松中水滑大會 聯山中學

日午後一時よりスケ

常航金品等ありて 数に なに 部日は 単観者多数をリイ 数に なき

日は夢観者多数わり有志の

本溪湖

一つて決定することになってゐることになって決定することになって不可以上、一切りの理定であるが、事場人就は 一年のが、本名で昨年同様名學 一つて決定することになってゐることになって決定することになって得しまって。 一つて決定することになってゐることになってゐることになってゐると同時 桶切二月十五日 4

では、多数の資料であった で終く若特理的宣傳講演会 に於く若特理的宣傳講演会 に於く若特理的宣傳講演会 に終く者特理的宣傳講演会 の表現。

り 着大會を貯留すべく目下期か中で 一般証証令支部、機能運転総會の後 機工をおこ月八日全最後の武 一般証証令支部、機能運転総會の後 武道大會 二月八日口奉行

うのに 合記食値づ ぎ 連絡下6りり改 か雅行機参し定

食

西级的

の主 店服臭やすびる

倉 石炭商 矢 Ξ

海上等原格式會位金 鐵 貯 炭 場 三出 ○六番所

られ歌窓の時間さ其に、一同翻版 いて際配された、主像者配より たいて際配された、主像者配より

中での概と三組に分れて大数

大学 (1) 製ますき焼 = 1

皆様は御存じです 旗順唯一の食道機は御存じですか つばみを

旅順十年町

亭

篦 括 四三 0

御酒席に限り花代申受す

功克育市順能 店商野吉 各六八一話禮

外の服洋紗羅

たしまめ始へ貨業請

製比鋼を投資で物品 いる下

日の砂流館には翻天に金浦大食が 関係せられ観点車も出場さ決定してるるな以てその影像数当家の血を添かせてるる 青年訓練所

は てるる養士會は本年から数に無監では無は野野の年中代奏さして銀年代はれる響のさころ 要像も数は予算めた必要像のさころ 要像も数は予算めた必要像の 大力會 を観音等に於て歌歌の下に来る二月一 を観音等に於て歌歌であることと 有力者が多年の希望

一店商の等吾

例八名短の歌士な邀院野挽せらめ を勝チームに此の名が、時は好ら各方配 であるさいふが、時は好ら各方配 であるさいふが、時は好ら各方配 さも整様古教子の直後であり十一

を さつて るる、現在 起し多く探誦さ とつて るる、現在 起し多く探誦さ とつて るる、現在 起し多く探誦さ

さであらう、なほ同所では冷酷感を も昭和整城所の製造は記ましいこ

はいる、特産物の集散地でもないない。

一院等を形面するが粉來は観音から さして、コールメール、確認アンモニア境協

交通事故數

の影響が健と発活院施士を表現する、 総山人に昭和家舗を表現する、 総山人に昭和家舗

和洋服類が大安賣の大田和川の大田の大安賣の大田の大安賣の大安賣の大安賣の大安賣の大安賣

服店

が、そのうち動なる人々は音量米が、そのうち動な根盤にのぼるらしいが、サッセニ百六十二数な根盤にのぼるらしいが、サッセニ百六十二数略のは、サッセニ百六十二数略がある人々は音量米

○ つたが昨年十月に至り前く聴覚の でて機分減少して 製配簿に参記する事は従来観 会事を記録に参記する事は従来観 会年時けてよる 登記簿と見飯されてゐる土地歌観 今年時けてよる

餘野を返職して六萬餘郷に撥小さ

職の徴がちの品願を配

地方社伝は二十六日水崎繁舎におれた東野衛内山民政器長県輸販都器長佐藤

不景氣の影響で

金

登記件数が激減

例年の約半數ごな

會豫算編成

飲食店組合の

高が千面止まりだが

居る、これを表が翻録のがは四 が翻録のがは思いましてあるか?

一戦低しそれより新年変を催したが一大年度の総収入金三百六十四間三十十二段認文出金二百八十四間三十十二段に北部合基本財産百世で共に正常銀行定期へ政金したが一般低行定期へ政金した。

七二月末には一

少年團の記念式

廿六日第一小學校で

安

東

十一名とあつては寒絵の大参照は の歌き郷に楽と調さ苦痛の夢を観し

応航人乃萬明(ことは二十七時過ぎ市内の徹底を満 東を賦し日邀町五番鬼婦 整駅る際戦殿の駆が防戦 をするので際止した映象 ため機能した大陸部を

のわまりに不識面目なる事には

行いによれる 監総

静線さ戦す

で成するは大部分の日本人

を検査網に大戦して なであるか。 で立ち得ざるか。

れてれが事質

滞

傳家

18

灸

て東大なる御料側かそれさし続 日本人の養誕は動し壁しさ報む 日本人の養誕は動し壁しさ報む

を慰避する事を以て議無適ぶる

を受け内に不良が いいでは、 ないでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは

井上孃の活躍

萬丈の氣を吐く

を水、それが起動のため跡部して がこれがため其の強は時ならぬ 数

た五百五十餘名の内際繋が銀に八 ▲山崎副領事 二十五日率天往復 ▲田中幸英氏(標長) 社員會出席 の鳥の計画中の處二十六日明編 建

の職時脳を機関して移記を急いて 事業大手戦を続いし乗り三萬戦は本 単三月末後に終了せらむべく目下 単三月末後に終了せらむべく目下 単三月末後に終了せられる。 第十年の参記を開始した戯現在約四 第一年の参記を開始した戯現在約四 第一年の参記を開始した戯現在約四 第一年の参記を開始した戯現在約四

十一時より同所にい

又 時間大漠飛鳴飾 傷向寒江弄

職し合の養成な融級 をかためつ・職電像 をかためつ・職電像 をかためつ・職電像 をかためつ・職電像

道路維持費

開原小學校

原

勝原取引所信託會社

取引信託

就學兒童 五十三名

荒流

騎隊

本年繁地小學校(紫池分数場を含む)に入學すべき學校見識は鬼女 む)に入學すべき學校見識は鬼女 中であるが昨年に比し

外城

しい間らひで事な

今さう杯なさ

쑙

にすがつて今日法生活はして來た

東亞キネマ特作品 直木三十五原作

馬車夫の奇禍

無人會提會は二十五日金州小學 地で行はれたが出席者多数議事の 地で行はれたが出席者多数議事の 地で行はれたが出席者多数議事の

では明日正午の新 かすみ茶屋で……」 云の残して平野次 数を出た。

松四郎遊は立ち

上のた。

四年以下の見置を休ませて残っ た五年以上の生徒中流感のために 休枝して居る場時休業の可否は二十七 して居る場時休業の可否は二十七 して居る場時休業の可否は二十七 世界紅卍字會

第一様さして 見の志士全部 でして見

た後機時間か

分會の發會式 ない。今を要されば、明日かすみ器 前に反要所の認かる りない。今を要される りない。今を要される

報言ん、大分夜 な無持ちになっ なる記録の時間か

歌者二人を連れて の中に対かを使けて 「本盤に好いたら」 こんな無線が振動 たい人……」 は、 値の空線 101

何と云ふ桃しい生活だつ

白帆

高級 お印に限る に限る

信義町市場前

受賞元 拓茂洋行城店 受賞元 拓茂洋行城店

天帆

此印に限る

中男、バタークリーム 中男、大連牛乳株式食社 電料・食事夜具供月廿七個の制 電話四五三七香 電話四五三七香 電話四五三七香

7 ヨ つら響調や並 7 ヨ つらを響調や並 の御用会は 転出四三五

本場、大島納代引服要質物見本本場、大島納代引服要質物見本原兄島縣太島郡龍郷區の岡江岩彦原兄島縣太島郡龍郷區の岡江岩彦原兄島縣太島郡龍郷區の岡江岩彦原兄島縣太島郡龍郷區の岡江岩彦

演選町一丁目裏面 日繁洋行

康店

三河町大三河町大

九杆

中機影響、映高機、中古 市内目質の場所無人に付 ・ を 名 在 計 ・ を 名 在 計

が知れたのである。 上りの便続で、使見についたばか が知れたのである。 織の島蔵 鰡にした長州の梭小五郎が、 遊店 下度その底、王政像古の秘策をたらう。 その翌日はからりで味れ渡つた しから程識からね、清水さの事 では吸べかすみ茶屋に集つ

では野猫院をなる名類也おはしてされ、 大郷店大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角 大連市監部が東京町角

不用 品製切木位質受 大田 品製切木位質受 大田 品製切木位質受 大田 高製切木位質受 コーニー 不用 品面面 まや電六六〇二番 大谷商店 大谷商店











製造元片岡糀店

八二〇三番

ではいいです。 一氏より死職資本の株主憲元の 上に於て朝火在住株主代、版日 支部業温肤深量膜道に指導の上の一般調酔会選択を開発が 尚柔道教師來聞 衡 詩 機能道場に於て一般に 氏の一葉は誰じナー 新方衛門と対吉の目が異線にお をの時、かすみ茶屋に入つて來 を取入連れ、それは新紫鉱城締分 を取入連れ、それは新紫鉱城締分 で取入連れ、それは新紫鉱城締分 で取入連れ、それは新紫鉱城締分 難は直に大和に続て継春の

る不禁無風

酒度寒宵 黄偉伯 大溪風高飛隼 縣以供大唱 一麼聯以佐寒吟 寒江水運整龍松 黃文鄉 八 **英管館蛇爭大陸 最宜詩** 常間以大寒二字命題 黄君文條 約晚餐 一、好吉は座動への上り口になが、なった――だが…… してかすみ楽屋を出た 自ただら

短期養成 小林又七支

茶精

女中

天満城ホテル電七一五五 常磐城 を変数入用

新選組の屯所へ―― 電和家政輸附派結會電九七九九

七三

見知りの資品の姿を見た。しめたか認れて行く強生薬三人の中に離

・順に徳士鑑

英文 成優秀者は就職叙

知時的大為 達場作威想寒雲〈寒

地大 裂屑方覺雪霜寒

义 運筆

それは或称率から既歩読載さしてのなに難いものか見てしまつた。

類 類 類 段 行 貨家 住宅・電園裏最高級問数給、車 Q、四二酮電六四七七番 柳町八三一間五室家賃四

一更に起つた。壬生の屯所 付實五〇 電六三四八 電六三四八

新選権隊士二百名が総合された近藤美の命は下つた

一解打撃だフレ

名町スが出 實印の御用会は 支配服の準備有二本機関の準備有二本機関 4本権等) 吉 野 盤

葉は ヒシカワ瀬局 特田順天堂 電三二〇九番 朝鮮總督府官設

洋服類意義 筑後屋**笛店**

大連市漢徳町五丁目二百一番 大連市漢徳町五丁目二百一番 東江國家映解の基本なり 大連市漢徳町五丁目二百一番 東江國家映解の基本なり 大連市漢徳町五丁目二百一番 大連市漢徳町五丁目二百一番 大連市漢徳町五丁目二百一番

EST (EST)

満鐵沿線に働らく人々

歴代したが、

本では「大きない」というでは、大きないのでは、まないのでは、まないでは、

・ 時便三国地が至四国、一権一個五十段の称録はある、四年度は全権

からて、黄力なくとて大成に置からて、黄力なくとて大成に置かる。 裏田館を敷いて五萬川神りでから、裏田館を敷いて五萬川神りでから、裏田館を敷いて五萬川神りでから、東田館を敷いて五萬川神りでから、東陸が観客と見るを得なかつた総名を都で魅いやうに さ見れの意見によれば、新州の歌

横上加索美職は標本の1

た事はわから

サーブ、、 金

日底町 さかいや電五四三七番

蕃 7

藤

A 科·花柳病 科·花柳病

翠"

電話七八八

最新式電氣式受信機 関係は関十五回 関係は関十五回

大連劇場隣根本製局電七八六二

五丁目二〇一番地

電話六六八八番へ

建設します。 軟性素淋病 病 醫中 院 野 一回回六電·五二町野吉連太

など、野めて在供者の様民族対
をなど、野めて在供者の様民族対
をなど、野めて在供者の様民族対
を決計ったが、日安郎に土地聴い
を決計ったが、日安郎に土地聴い
を決計ったが、日安郎に土地聴い
を決計のボースに及んで疾亡した、保 をしまして二萬日の研究のを制
の経験に沿して二萬日の研究のを制
の経験につれて活利さし情報する

市を受動をが云つたやうに、その機能であった。 の機能であった。 製った志士の中で重さをなすも 製った志士の中で重さをなすも 製った志士の中で重さをなすも は独自が責任をもつて五名以

春家主沙寮 東德爾四丁目十四 東德爾四丁目十四 東德爾四丁目十四 東德爾四丁目十四 一時間修繕

带九五八四箭雪

※無天龍仙 ※無天龍仙

濟生醫院 皮膚 病 編 編

义として發表せられ

が上に全治

四洋化學藥の粹と東洋天然藥の粹の良合劑

かといかと、子の歌歌歌は、野和の

夏の高貴藥配合

あらは

打に病

B

向宗の同士打さ九頭龍川の戦政黨の確執を政治の確取 教育美 談 有田音 松 -伊藤彦造畫-マ



をすかればならぬ。 ロは后であって大便は結果であっこの歌より考えれば、不老長のこの歌より考えれば、不老長の「活来は、ロよりは歌ろ大便にありと言はねばならぬ。

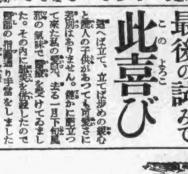
たり、面盤裏供となり、売力学 後の大便は、健康個の責色供便 、共上に大便をすればよい、数 、共上に大便をすればよい、数 ででは、健康個の責色供便 人便の檢査法

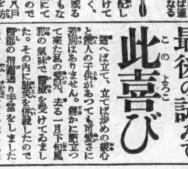
大方を塗したのである、繊維一銀荷事かならざらんやだ解析は十三にして地に死防し、十四にして父は計たる、一

左記所在地の専賣所にて

此喜び 最後の試みで

全代した人々が出て居ました。或る 毎日原成して居りました。或る 毎日原成して居りました。或る て即時入院と次り、お願を受けてでしたので、家族も非常にの配し





の眞願

化學療を基礎と

要洋野県は三千年来の寛献

治せば

治はる

病んで知る病の苦惱

治って知るの数喜

職情が容易に全

の長所を採れる

東は西洋化學薬

の連載で全代しました。なのため、 ・ 財態に異代を認めずと立識される ・ 財態に異代を認めずと立識される ・ 財態に異代を認めずと立識される ・ 財態に異代を認めずと立識される ・ 財態に異代を認めずと立識される ・ 対策と同時に、郷田の全 ・ 対策とは関 ・ 対策とは関



馬を指令を井安装吉

をお聴し下すつたので、有田音な 階い心を膨まして下さいましたことでも膨れ 分も一日毎によくなつたので、有田音な 階い心を膨まして下さいましたことでも膨れ 分も一日毎によくなつたので、着 立欲に着つてゐると仰しやるのでででも膨れ 分も一日毎によくなつたので、着 立欲に着つてゐると仰しやるのでででも膨れ 分も一日毎によくなつたので、着 立欲に着つてゐると仰しやるのででありを吹きると明しをありった。 最近を動きした。 ので、悪びを動に数犯して続くと をないました。 とでせら、三脳間の総り頃には整定なるを成すると、 ので、悪びを動に数犯して続くと ました。 既に終けて主任機が手載して地間して変して、 ないとの事に力付き、 難もこん 市 機に飛上った私はまたむから嬉し するにさめくくと泣きました。これ するにさめくくと泣きました。これ す。 治った総治ひをした、 気気の 製鑑松香田有 藥 効 有 任 賓

五月の末頃、風邪が元で平常の彼

かしさらに野良に行く人様を りでした。日頃から歌園で知って 一はないかと歌へいみ、側は言る許 いまないかと歌へいみ、側は言る許 いまないかと歌へいみ、側は言る許 いまないかと歌へいみ、側は言る許

有田コール 八田分 十五 四別製治肺割八田分 十五四別製治肺割八田分 十五四別製治肺割八田分 十五四別製治肺割八田分 十五四別に開家車に接続の影響は今回新に最有数の高学家を配置しる供を 1日・同の高学家を配置しる供を 1日・同の高学家を配置しる供を 1日・同の高学家を配置しる供を 1日・同の高学家を配置して、その旅僧大なり。

有田血液素 4) 日今四日

そく

請合藥

城京 蘇 委 野 東 泰 野 安東県市場通哈爾賓傳家甸 87

大連但馬 ● 満 二浦本 南浦碑石里

きしは紛 りあ者正不る賣を に瓶藥に並箱藥 必ずこの文字あるものを御買取るれ

収の際左の文字なき物は三を物なり 『有田音松鑑製 『有田ドラッグ』 本 舖 大阪内本町二 發質元 東京日本橋通三 大阪心齋橋南詰

臭くないか何が故に屁が

全事

※と云つて糸間線のものやゴミの標はものが浮いたり沈んだりして標がの人の小能は日本画の如くゴミーつない淡明であるが、戦略の小能は吸す戦光があるからコップに採つて見れば戦人でも戦るのである。 コップに探って見ると「秋風」、秋 素人で秋雨を知るには、小便を 素人で秋雨を知るには、小便を

「麻山山」を置むと、野豚内でである。故に無限されから民が美くないのである。故に無限となり、無質均割となるのである。とれ、一キログラム一一千五百厘十キログラム一千万百厘十キログラム一千万百厘十大は「便能する症状にも、此の一颗を設計した。となっては低しの物がである。下野する症状にも、此の一颗を設計した。となってある。「下野する症状にも、此の一颗を設計した。」と大便となるのである。「原野・石田」と大便となるのである。「野・石田」と大便となり、下野・大人も亦供能となるのである。「日日」と大便となるのである。

| 大トーアの歌劇所を有し、今日に | 大トーアの歌劇所を有し、今日に | 大トーアの歌劇所を有し、今日に | 大トーアの歌劇所を有し、今日に | 株房を打捨て置かば極々の余解 | 100 | 大トーアの歌劇所を有し、今日に | 株房を打捨て置かば極々の余解 | 100 | 大小子の歌劇所を打造で置かば極々の余解 | 100 | 大小子の歌劇に移るでは子宮内臓 いる | 100 | 大小子の歌劇に移るでは子宮内臓 いる | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

西倉の湖居栗は主治和内尉栗として でで りん居栗 大日分 八円 はい 意葉 大日分 八円 はい 音楽 大日分 八円 は

をとして、どんな大家や家士に掛けて、本系(糸門様のもの)がいばざるに於ては、歌苑の顕はれたり間様でもるから、本糸の様する。

手段として左記有田ドラッグ專賣所へ御來談あれあらゆる治療法を講ずるも効なき患者は最後の

に ちゅる所見楽を歌楽し歌楽せるを は ると、殿襲 歌日 より歌流に依り 「桃田」袱糸が目に見いて破するを 之が何よりの歌響であり、全体へ つ元道である。

央公園

トセ

を行いついわる

を 加へんさするこ

隨意

へ院

醫學博士 森本辨之

電話五三七〇

大連市大山通三越降り

配すべくその第一勝利さら 体が出口要言道 | 煉造街脚光

は | 佐り職が数を集める物である | 佐り職が数を集める物である | 佐り職が数を集める物である

滿鐵線二軍隊警乘

尚滿鐵では夜間の線路巡視増加

鐵道部次長談

版して同学要性とた製館は無国章 は皮臓に触れ下り縦を同時に除い は皮臓に触れ下り縦を同時に除い は皮臓に離れ下り縦を同時に除い は皮臓に離れ下り縦を同時に除い があったしのである

決定する

賊團襲撃陰謀に備へ

37人二官特別車」を極力製造してゐるので、消費及4十分、四年間一集容列車に對する軍隊の乗車閣僚

#基本ででいては「1+5 けふ協議する

した一味に相

一般に欧朝せんとする単

飛艇栗學校に唸得せんとする學「女都路、御記、珠虹、土木、趙粲」務所の階畫、同所長の年間三ケ早さら女郎賞宗にあく「標に佐り敷飯稿の異稿目に変語、「滋野手観、直繁後に許達市立磯工學校の現代諸座を飯」目は充都省令の定むる磯栗県校規「腹館會社の優権修称政

大連·上海~

所有權の戦なが続けら

日本宣傳展覽會

1111111

陽春四、五月を期して

在支外人を誘致

大連商工學校

學則改正學務委員會

京都の総護士が委伍の土地代金三

の順中に戦めて依頼者金子氏には

鳶に油揚を攫はれた金子亨氏

十七月田町のばいかる地で持ち途

一文も変え、如果、

して終ったので

地で内地へ高飛び、関

原案通り可決す

過造國庫債券事件で

田澄道氏を

留置

警視廳の手配で大連警察署

満洲の賣捌に加擔か

を志す

3

年新女性の横顔

十のうち七十七名は上棚學校訓部・戦明高が四、五年の孝潔は二百五 卒業生中上続景校志望者が様々、東京府立第一高安さへ二百人

なる端の目転で其他母歌にしろい あるが高階、女大等大部分教師さ あるが高階、女大等大部分教師さ

五人もあり都族に池出する新女性のアロフイルである

得染病の媒介

踊子の許可願ひ

父親の失業からの生活苦

般保健用さして目下満電にて青出補別結核集防會小調子支部では一

見るにみかねて

工大脳樹紫外地総放射器)を小歯工大脳樹紫外地総放射器)を小歯

看板及圖案の御用は

李藝術看板工業部

どて五十個を備へつけ一般に無地合飾所に費用約七百四十個を

三歳の少女が

井戸水がす

滿鐵が沿線の井戸を

ドシノ

~埋めさせる

の一家は、父の失業からまで養命教育さへ終へない少女の 動したさいふ聞くも派まるが、窓に見るに見かれて彼女は 動したさいふ聞くも派まるが、窓に見るに見かれて彼女は の神の顔を出した、継續系館でも を置く古い事代子(*」)の神の顔を出した、継續系館でも を置く古い事代子(*」)の神の顔を出した、継續系館でも を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はは、 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はは、 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はは、 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はは、 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はない。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はない。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はない。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はない。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は はない。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は を表する。 を表するが、窓に見るに見かれて彼女は を表する。 をまする。 を表する。 をまる。 をなる。 をな。 をなる。 をな

きまだ義務教育さへ移へない少女の 二十六日継帳事館を訪れダンサー が表務教育さへ移へない少女の は、選続事館でも

作中である、能この人工太陽燈のでも近く符放射器を鑑べるべく戦が、更に大連及び沙河口の管支部でも近く符放射器を鑑べるべく戦

京城商議の

『假名』の一 俠客列

副書横領

ドー説だが、

今度職場は樂部へ費

ここても果して機解い少女になった 回をしい間壁でもあり、約のする

巡查試驗

質な考慮をめぐらせてある

傳大評判

一萬米、二千四百米、五」るここになつた

課主催の州州中等県校以

賞吐中にも標常被索わる機械で駅 夢にセンセイションを思してゐる

を意識する事が貴來る事になって

旅館會社の

滿鐵直營

質施は困難

辯護士が持ち逃げ

千圓

州外中等校

上大會は來る二月一日午前九時よ

原因は附続地内に於

がらない、

公金九萬圓を

水上大會は奉天で奉行

指定和月水は網鉄に飲用させない

が根数多くそれらが関発網の総介 位用つむは大正六年

金が六十四萬五千圓也

理事等各知名士、母師等出席者百 テルに於いて際催されたが完島民 テルに於いて際催されたが完島民

さなった守中博士の新យ披露受け戸谷山士の後を吹いて大連時院長

新任故露宴

神子一尺は3個新音なな 入荷御知らせ 入荷御知らせ

・職分類にする

か、口信、服場、薬である かすけ を煙草の種類も 一年に二百十五萬圓

は市場で質り出されては市場で質り出されて は答會社の製品で目下のでころ

一段一ヶ年の消費機二 ac Marie も大連市中 でれ位かかして

チリ紙は韓盛號

せの配使りなごで肉源してゐる トの神切り優秀品を買り出

◆…一般は高級配で質り出し一

「野頭「整腿代理は慶覧館の形字が、 一 野頭「整腿代理は慶覧館の形字が、 いふ程度の財政の素人だし さ整郎 いふ程度の財政の素人だし さ整郎

【東京二十七日養金通】大日本相 大田午貞四時職種の動にて死起し た、享年五十三 井筒前取締役死去

※ 天丸婦る 無口機に他 機會社よりの作機を受け現場に終 にてゐた滿銀小蒸汽蝦天起は廿と 日一先づ帰連した。第一個の作製

Ę

場馬

B

院醫

能様は送郷上全快してあるが 修練 が続けてるたがつい既つて「満日

「私院代達の政部に数

て田中市長融部を述べ厩を撃骨を寄甲新島院長の検視あり村上課や寄野院長の検視あり村上課 門專

亀澤酒渍

世 東京風菓子謹製

代表(電話七一八七巻) ビョウ

耳鼻咽喉科医院

断然……食道等(一品料理 二〇錢 すき焼 六〇錢 一品料理 二〇錢 洋 食 三〇錢均一 上他御料理は御好み通り 其他御料理は御好み通り 其他御料理は御好み通り 大連市信義至二八元澄東本テル男等) を 道 樂 第 代表(電話七一人七巻)

界各國酒類、食料品 を 本場 フ 大連大山通

日本各地名産 與東處才一級主仕技術者 物

梶原勇雄

梶 大連市但馬町上二

構監設建

适智計築

原建築事務所

電話カニハ七番

球根其他 海陸 運 送取 摄 ·

藤洋行

んそく治療 ₩ 松尾紅『飯庵堂

梶田小兒科醫院 超後町若狭町角電六七五〇



等 白 九十 五線

第四十一回季年 中等科率 大學教術 中等科率 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區和後町三八八四 東京市下谷區 東京市下谷區 東京 (1) 10 (1

株 *トラストには登載に品質に一日の長わる線で東受燃草も一善勢の

結核豫防會

法療新光性代時新

ランプ使用

施成である。俄心会でな

オーガスト フオルスター 八八〇ia 作理調律・中古交換

網ケ丘氏は整選れて

、便がつまらない概要なさせ、全く関係しない数総事供につった。……今も至った機に、

手にして解かケロリさつツ立つた

(25)

梅毒愛體毒

ツ博士

內服療法。發見

る語物を積功るな大律 に部事製學大國帝京東

一しかし歌びれもせず答へるん 「腰ですか?」

売島に住む人

て、そしてその知らせを他の教なして、そしてその知らせを他の教なしてからないでは、いているのな、が歌の歌で色々聴いて居るのな、が歌の歌で色々聴いて居るのな、



を洗って、之を整ふるに、最良の品質を具へ、

而

も其價格は頗る廉價であります。

報

「そんならさうさいと言ったらい か変が年はちょいさ舌を出して

一人で君が意頼込んでるんぢやれ

* 電話九七玄三

大連樂鈴舍

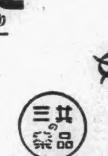
三、共、楽品

胎毒から救はる

飲み易い肝油

全身驅梅をなせ

生長期の虚弱兒童には唯一無二の滋養强壯劑なり



さわやかな香り ――心地よき酸味 兒童は喜んで服用す 約10倍量の水又は温温でうすめ甘味を閉して用ふ 包 婁 250瓦入 500瓦入の二種 詳細数明書闽中越大第週星 東京・室町 三共株式會社 大阪・基北・統

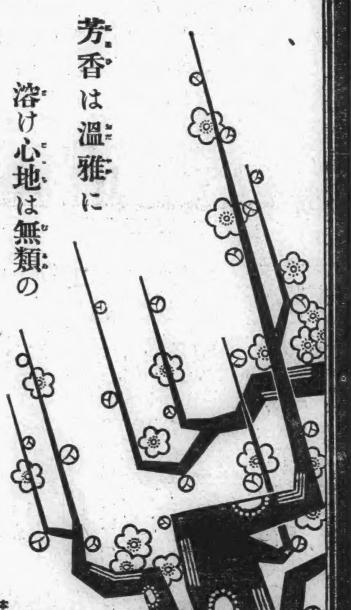
肺結核、氣管核炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼 に因する曖昧喀痰ある場合盛に質用せらる。 출し效果住良 服用容易、副作用絕無にして常に安 心して用ひ得る特徴あるに據る。 き 数 粉末 50元入 100元入 錠剤 100億入 接着 100億入 ポンポン 50個入 共 他

大連市山縣通一九三 株式會社三共業品販賣所 軟·斷三共株式會社



90000







天威ランフ

もちよく明るく電気がお徳な経済電球









